

ROTARY CLUB OF **NARITA AIRPORT MINAMI** DISTRICT 2790 **WEEKLY BULLETIN**
国際ロータリー第2790地区第6分区
 創立 昭和11年10月6日 承認 昭和41年11月21日
 成田空港南R.C. 会長テーマ **小さな親切** **きずな 絆**
 例会日時 毎週木曜 12:30点鐘 (最終例会 18:30点鐘)
 例会場 中国ダイニク富士屋
 事務局 〒280-1792 千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6 URL <http://www.narita-airport-m-re.jp>
 TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178 E-mail info@narita-airport-m-re.jp
 第2790地区ガバナー 中村 博亘 第6分区ガバナー補佐 四之宮 由己
 平成21年11月17日発行 NO.1910 第2038例会 会長 鈴木 恭一 幹事 古西 弘和 会報担当 伊藤 元雄

例会報告(平成21年11月17日)

国際ロータリー第2790地区第6分区

2009-2010年度 3クラブ合同

ガバナー公式訪問例会

(エストーレホテル 風雅亭)

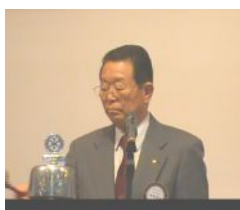
司会	成田空港南RC幹事	古西 弘和
点鐘	東金RC会長	豊福 豊次
「君が代」 斉唱		
ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱		
四つのテスト唱和	東金RC幹事	野口 隆利
来賓紹介	東金ビューRC幹事	斎藤 寿夫
歓迎の言葉	成田空港南RC会長	鈴木 恭一
ガバナー補佐挨拶	ガバナー補佐	四之宮由己
基調講演(卓話)	ガバナー	中村 博亘
質疑応答		
点鐘	東金ビューRC会長	高橋 敬彦



中村博亘ガバナー



四之宮由己ガバナー補佐



東金RC 豊福豊治会長



成田空港南RC 鈴木恭一会長



東金ビューRC 高橋 敬彦会長



成田空港南RC 古西弘和幹事

会長挨拶

皆様 こんにちは。

成田空港南ロータリークラブの会長の鈴木です。本日 ホストクラブという事で、3クラブを代表させていただき、一言ご挨拶を申し上げます。

今まで当クラブは、「横芝ロータリークラブ」でしたが、今年度より「成田空港南ロータリークラブ」と名称を変更しましたので、改めましてご報告を申し上げます。

本日はお忙しい中、又、年中行事とはいえ、第2790地区ガバナー中村博亘様、又、第6分区ガバナー補佐四之宮由己様には、私共3クラブの為に朝早くよりご訪問いただきありがとうございます。

又、3クラブ会員の方々、特に東金ビューロータリークラブ、成田空港南ロータリークラブの会員の皆様方には例会日を変更してのご出席、ご苦勞様です。本日、中村ガバナー、四之宮ガバナー補佐をお迎えして、本年度のクラブ運営にとって大変重要な「ガバナー公式訪問例会」を開催する事ができました事に心より御礼を申し上げます。

このガバナー公式訪問の目的は、クラブや会員に、ロータリーの主要問題に焦点を当て、関心を持ってもらう事、又奉仕活動の推進にあると伺っております。中村ガバナー、四之宮ガバナー補佐には、午前中3クラブ別々に会長・幹事、エレクトとの懇親会を持っていただき、身近で直接ご指導をいただきました。ロータリーの活性化の為、是非CLPの導入を、そして何事にも常に相手の立場になって行う地区テーマ「思いやりの心」が大切との事でした。アドバイスをいただいた事をこれからの活動にかしていただきたいと思います。

又、本日例会終了後、ガバナー公式訪問の合同クラブ協議会があります。私たち成田空港南ロータリー

クラブも、他のクラブの活動計画や事業計画を聞かせていただくことは、大変勉強になります。又、私たちのCLP導入2年目の活動計画、事業計画に対して中村ガバナーのご指導もいただき、今後のクラブ運営に役立てて生きたいと思いません。本日は限られた時間ですが、中村ガバナーには、例会内で卓話をお願いしてあります。どうぞよろしくお願いいたします。今後も3クラブが有意義で楽しい合同例会が続きますよう、お願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。本日はご苦勞様です。



■ 基調講演

第2790地区

ガバナー 中村 博亘

こんにちは。今日は成田空港南RC、東金RC、東金ビューRC、3クラブの皆様の前でこのような機会を与えられまして大変光榮に思っております。お陰様で地区大会も無事に終わりました。皆様方多数のご出席を頂きましたこと本当に感謝にたえません。あと公式訪問も残すところ数クラブとなりました。又ちょっと肩の荷がおりたところでございます。

さて、今日は皆さんに少しロータリーのお話をさせていただきます。

RI会長のジョン・ケニー氏は、この上に書いてありますように「ロータリーの未来はあなたの手の中に」といっております。皆さん一人一人の手の中にあります。一人一人の努力がこれからロータリーの未来に繋がっていくと思えます。

又、今まさにロータリーも改革の時期を迎えています。2008年の国際協議会で大きな恐竜の写真とともに”adapt or finish”という言葉が投げかけられました。”適応するかそれとも滅亡するか”という問いかけでした。このままの状態で行けばロータリーは間違いなく滅亡するだろう。今ロータリーは変えていかなければいけない。新しい時代に適応できるロータリーにならなければならない。ポールハリスが言っているように”世の中の変成にあわせてロータリーは何度も何度も書き換えられなければならない。まさに今そういう時期を迎えています。そのために是非各クラブでCLPを導入して下さいという講演が2008年国際協議

会で行われました。今、世界中530地区のほぼ大多数がCLPを導入しております。

2007年の規定審議会の時点で72%でした。あれから1年半以上経ちましたので正確にはわかりませんが今はかなりの普及率だと思います。

わが国でも、先日伺った同期のガバナーの地区大会、近くでは埼玉の2770地区でも全部CLPを導入、又、先月の2780地区神奈川でもガバナーより100%の導入報告がありました。我が国でも地区で導入されております。しかし残念ながらわが地区ではCLPを導入したクラブ、これから導入する予定クラブ、合計で60%位です。

どうしてよその国でこれだけCLPが導入されているのになぜ日本がこれだけ遅れているのかを考えてみる必要があるのではないかと思います。

私が皆さんにCLPを導入して下さいとお願い申し上げた時、いちばん反対された方は皆さんベテランのロータリアンばかりです。ベテランのロータリアン（シニア）の方たちが反対されたのは、ロータリーは職業奉仕だから、ロータリーから職業奉仕を取ったらもう何もないのだということをおっしゃられました。

まさに私もそのように考えます。

ただその職業奉仕がどこからきているのかを考えなければならぬと思えます。

もうひとつは決議23-34（1923年）をRIが取り外そうとしました。現に今年度R章典から完全に外されてしまいました。

2009年R章典をwebサイトで調べてみますと、社会奉仕に関することが書かれております。

日本のロータリアンが反対しましたので2010年の手続要覧に、歴史的文献として載せますが現実的には決議23-34は役に立ちませんよという意味でした。

R章典はロータリーの方針を書いたもので、これから外れました。

なぜこうなったのか。

決議23-34がどうして作られたのか。

また決議23-34がなぜ社会奉仕の欄に載っているのか疑問をもっていかなければならない。私自身社会奉仕から考えました。今原点に戻れということ、原点に戻って職業奉仕が作られた頃に戻って職業奉仕を考えようではないかということでしょうか。

今ここで、振り返ってロータリーの歴史を考えてみなければならないと私は思います。

ロータリーは1905年に誕生。最初の段階では親睦と相互扶助から始まった。お互いが助け合っ
て行こう、親睦を大切にしよう、そこから始まった
のです。

ところが1906年にカーターさんが入会しました。
今のままだけではロータリーはもたないよと社会
奉仕を打ち出されました。大変な反対の中2ヶ所
に公衆便所を作ったのがロータリーの社会奉仕の
始まりでした。

1908年に入り、シェルドンが入会しました。

1910年第1回全米RCの連合会年次大会で彼が発
表したのが” He profits most who servis his
fellows best.” というように、仲間に対してより
多く奉仕する人が最も多く報いられるというもの
でした。サービスをよくすればそれだけ金儲けが
できますよ。最初の奉仕の理念はここからスタート
しているわけです。

1913年に職業人の為の道德律を作ろうということ
で2年間かけて練られ全職業人の為の道德律（11
条）が1915年サンフランシスコの大会で作られ、
これが職業奉仕の原点でした。

1916年全会員にロータリーの職業奉仕に対する解
釈本が配られた。当時のアメリカでは社会奉仕
ブームが起こり社会奉仕団体がたくさん出来まし
た。

1917年元ロータリーの会員が職業奉仕ではなく社
会奉仕をやるのだと作ったのがライオンズクラブ
です。

同じく1917年 ロータリアンのエドガーアレン
が、ロータリーこそ社会奉仕をする団体でなければ
いけないという事を言い出しました。

それはどういうことか。何を対象に社会奉仕をす
るかということ、当時アメリカで流行のポリオ患者
に手を差し伸べるのがロータリアンではないか。
クラブとして社会奉仕をしようではないか。そう
いう気運がロータリーの中に盛り上がってきまし
た。

この時に社会奉仕か、職業奉仕か、大議論が起
き、まさにロータリーが分裂寸前だったことが文
献に書かれています。大変な時期でした。それを
うけてシェルドンが再びロータリーの哲学という
本を書いています。” 超我の奉仕” という哲学を
打ち出すわけです。

1923年セントルイスの大会で決議23-34が作られ
ました。分裂かどうかの時でした。決議23-34と
いわれるロータリーの奉仕の原点である社会奉仕
の指針が作られたわけです。

そんな中で、1927年にロータリーの4大奉仕が確
立し、それが約80年間続いてきたわけです。
その中でロータリーがどう変わってきたか。

決議23-34に書いてあるように、クラブを中心とし
た個人の奉仕、地域社会において個人個人が奉仕
するという” I serve ” の精神。それがロータ
リーの真髄で、それこそが私はまさにロータリー
の言う職業奉仕だと思うのですが、今その原理が
だんだん薄らいできたように思っております。

1947年の教育的プログラムの導入。1962年からは
人道的プログラムの導入。クラブの奉仕からR I
主導の奉仕へと変わっていく。職業奉仕からむし
ろ社会奉仕へ、国際奉仕へとR Iの方針が変わっ
てきています。

そして1978年3Hプログラムという、健康、飢
餓、人間性に目を向けたプログラムが出来た時点
で、R Iの理事の中で、これはもはや” I serve
” ではなく” We serve ” ではないかという議論
が交わされ始めました。このようにロータリーの
奉仕は対外的な様相を呈してきております。ロー
タリーの方向が外部へ向かい、国際奉仕、社会奉
仕中心に変わってきていることは間違いのない事実
だと私は思います。そういう中で職業奉仕が少し
疎かにされている。しかし、ロータリーは職業奉
仕の団体であるということを、R I自体が文章に
書いておりました。

ところが1999年、R Iははっきりとロータリーは
国際奉仕の団体であると明記しておりますし、
2017年までに世界No.1の奉仕団体にする
と宣言しております。R Iの奉仕の方向性が（職業奉仕
から国際奉仕）国際奉仕の人道的なプログラムに
移ってきています。

このために大切な事はクラブを活性化する事
です。

〔四本柱が大切で、この上に効果的なクラブを作
るのがCLP〕

CLPは四大奉仕をなくすのではなく、理念を生
かしてCLPをやって下さいと言っている。

〔国際奉仕の人道的なプログラム〕

将来のロータリーがどうあるべきかというのを
世界中のロータリアンの意見を聞き、まとめられ
たのがあの7項目の長期計画です。その達成のた
めには効果的なクラブを作らなければならない。
そのための要素として4つの柱が作られました。
1つは会員基盤の維持拡大、会員増強。2つめが
地域社会または他の国において奉仕プロジェクト
を実施すること。3つめが財政面とプログラムに
参加してロータリー財団を支援しようというこ
と。4つめがクラブの枠を超えてロータリーにお
いて奉仕できる指導者の育成です。これを支えて
いるのがCLPであり、その1段下を支えている
のが4大奉仕部門ということになります。つまり
CLPは4大奉仕部門の理念を生かしながら進め

ていくことになっているわけです。

ここには決議23-34に反することが多く、つまりR Iとしては決議23-34の文章が大変邪魔になってきた。そこでR Iはこれをロータリー章典から取り外そうとしたわけですが、これに反対された日本の理事の方々の努力によってとりあえず決議23-34は残っております。その辺のいきさつは、今年の「ロータリーの友9月号」に載っていますのでご覧ください。

ロータリーが変わってきていることを認識して、生き残っていく為には変革が必要です。皆さん一人一人がロータリーを支えていかなければなりません。ロータリーの未来は皆さん一人一人の手の中にあります。このへんをくみとって頂き、新しい時代に向かってCLP導入をお願い致します。



■ 公式訪問にあたって

第2790地区第6分区

ガバナー補佐 四之宮 由己

3クラブの皆さんこんにちは。

本日は中村ガバナーの公式訪問にあたりまして、大勢の皆さんのご出席を頂き誠に有難う御座います。公式訪問の準備にあたりました方々には大変ご苦労様でございました。

私はこの公式訪問を楽しみにしておりました。それは皆様方と出逢えるからであります。ロータリーの良さ、楽しさは「人との出逢い」にあると信じているからであります。

午前中は3クラブの会長幹事さんと次期会長幹事さん方との懇談会が御座いました。3クラブ共それぞれの特色を生かした活動計画を聞かせて頂き感心しました。

ガバナーからは厳しい質問も御座いましたが、良い方向に変えて頂きたい為の御指摘でありまして、そばで聞いていて気持ち良かった所が多くありました。

今日の公式訪問は、東金RCの50周年記念式典が9月15日に開催されましたので今日に日延べになったと思います。

中村ガバナーはお話しておりませんでした。現在R I会長 ジョン・ケニー氏が来日して居りまして、今日から4日間東京のお台場で『ロータリー研究会』が開催されて居ります。ガバナーは勿論ですが、私も19日から2日間出席することになっています。

私は中村ガバナーに、「本日の公式訪問と重なりましたので、どうしますか」とお聞きしましたところ、中村ガバナーは、「公式訪問を優先します」と即答されました。

その様に地区を大切にする中村ガバナーでありますので、ガバナー補佐一同からの信頼も厚く、ガバナー補佐会議もその様な雰囲気の中でいつも行われて居ります。

中村ガバナーの任期が無事終わります様、今後共皆様方の御協力を宜しくお願い致します。

私のガバナー補佐としての第一の仕事と致しましては、来年2月17日に予定して居りますIMであります。今、その準備に入っておりますが、従来の発表方式ではなく、講演会にする事に変更させて頂きました。

IMのリーダーは茂原ロータリークラブ 杉木パストガバナーにお願いし、どのようなテーマにしたらよいか私と二人で相談した結果、「偉人に学ぶ道徳と経済」というテーマに決定させて頂きました。

講演は「二宮金次郎の思想」と題しまして、小田原にある報徳博物館の理事長、草山 昭さんをお願いして有ります。講演時間は1時間30分を予定しておりますので、どうぞ楽しみにして下下さい。皆様方大勢のご参加をお待ちして居ります。



■ 出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
11月17日	47	47	0	100.0

★ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ★